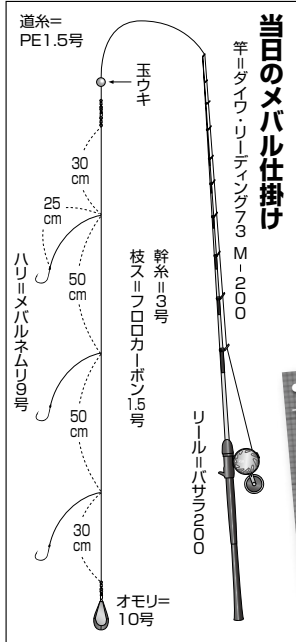


★最新版『沖釣り仕掛け全集』好評発売中!!



当日のメバル仕掛け

**Tackle Guide**

竿は軟らかめのゲームロッドがお勧め。硬めの竿を使う場合はクッションゴムを付けるのも一手。市販仕掛けの枝スの長さは25~30センチが一般的で、食い渋りの場合は枝スが長いイワシメバル用の仕掛けを使うのもあり。

「根は荒くないので、投げられる人は投げて広く探ってください。入れっぱなししないで、まめに入れ替えてエサのチェックも忘れずに」と盛んに教を飛ばす。

「すごいすごい! やったね」と大きな声が出たところに行ってみると、結衣ちゃんちゃんと良型のカサゴをダブルで釣り上げている。

これにはお母さんも脱帽だ。

逃した魚は大きい?!

船長は転々とポイントを探っている。私も撮影の合間に竿を出す。

下バリにはカサゴ狙いで持ち込んだカタクチイワシを付け、上バリには船で配られたアオインメの頭の硬い部分にハリを刺して1匹付け。

ちなみに私はアオインメの尻尾をちょっと切っている。これでインメの体液が出て、

「記者さんの竿にアタっているよおー」と隣の席の杉浦さんが知らせてくれた。

横目で見ると私の竿が激しく

匂いでもアピールできる。釣り方は、仕掛けを着底させたら糸フケを取り、底付近で静かに誘いを入れる。コソコソとかガツガツとしたアタリは見送って、エサを食い込んでギューンと引き込んだら竿を立てて合わせるのが基本だ。

ここはアジのいるポイントでもあり、岡さんが25センチのアジを釣ったので写真撮りをしていると、

「記者さんの竿にアタっているよおー」と隣の席の杉浦さんが知らせてくれた。

▼メバルはゆっくり竿を上下する誘いが効果的



くたかたかっていたのだが、お仕事優先。撮影が終わって席に戻ると竿は静まっていた。仕掛けを回収すると枝スが切れていた。逃がした魚は多かったとガツガツ。

18時半過ぎ、船長は護岸際の浅場へ移動し、水深6~8メートルで再開。

すぐに船内各所でカサゴが釣れ始め、私も良型2尾をキヤッチ。

次第に辺りが暗くなり、ようやくメバルが顔を出し始める。岡さんが小ぶりのメバルを釣ったのを皮切りに、左トモ2番の関さんが25センチのメバルを抜き上げる。

関さんはその後も続けてメバル2尾を釣り上げたので、特別な仕掛けでも使っているのかと聞いてみると、皆さんと同じ仕掛けだった。

「あちゃー。こんなのが釣れたよ」と左ミヨシの関さんが釣り上げた小ぶりのマダコに船内がなごむ。

15~25センチほどのカサゴが各所で次つぎに上がり、「お嬢ちゃんも釣ったよ」とスタッフさんが教えてくれたので右舷に行ってみると、米通結衣ちゃん(8歳)が22センチのカサゴを釣り上げてVサイン。

母親の和香菜さんによると、結衣ちゃんはすでに沖釣り歴1年半とのこと。将来がとっても楽しみだ。

負けじと同級のカサゴを釣り上げて写真に収まってくれたのは武田唯叶くん(12歳)。彼も休日にはお父さんと頻繁に釣りに出かけているそうで、サポート役で乗り込んだ

違っていたのは釣り方で、大きく竿を上下させてタナを広く探り、フワフワとエサを落とし込んでヒットさせているようだった。

相変わらず船内ではカサゴがメインで釣れ、時折メバルが上がるという展開。

「やっとなメバルがきました!」と和香菜さんが20センチのメバルを釣り上げてニコリ。

しかし佐藤船長は、「メバルの割合が少ないので移動します。少し走りますよ」と15分ほど移動。

しかしここでもカサゴが元気づく竿を揺さぶり、「ようやく私にもきました!」



▲横浜沖のカサゴの魚影は相当なもの

●船宿information

東京湾奥横浜

**広島屋**

☎045-622-8615

(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=土日祝日夜メバル・カサゴ 乗合一人6500円(エサ付き)

▶備考=17時15分出船、21時沖揚がり。ほかライトアジ、シロギスへも出船



と左トモの渡辺さんが25センチのメバルを釣り上げたところで沖揚がりとなった。

トップは31尾を釣った関さんで、皆さん20尾前後の釣果を上げたのでお土産には十分メバルは暗くなってからが勝負。これから徐々に日没時刻が早くなるので、メバルの割合も増えることだろう。



▲アクセスがよい横浜・広島屋の夜釣りはファミリーにも大人気

▼港から釣り場が近いから船に弱い人にもおすすめ



スタートした直後、「キヤー、もう釣れました!」と右ミヨシ3番の米通和香菜さんが20センチ級のカサゴを釣り上げてニコリ。

続いて右ミヨシ2番の杉浦さんが竿をならせ30センチ級のイシモチを抜き上げた。さらに右トモ2番の武田さんが23センチのカサゴを釣り上げ滑り出しは良好。

将来有望な小学生

「まだ明るいので深いところからやります。水深は12メートルです、どうぞ」の合図で

10分ほどで最初のポイントの横浜沖に到着し、「まだ明るいので深いところからやります。水深は12メートルです、どうぞ」の合図で

メバルとカサゴがお出迎え 涼しい夜釣りでリフレッシュ

関東地方も間もなく梅雨明け。大粒の汗をかきながらの釣りも楽しいけど、夕涼みを兼ねての夜釣りでリフレッシュするのもおつなもの。

そこで6月下旬に、東京湾奥横浜・広島屋で土日祝日限定で出船している夜メバル・カサゴ乗合へ出かけた。

店主の石井晃船長によると、今シーズンも順調に釣れているとのこと。最近では明るい日はカサゴがメインで、日が落ちて暗くなるとメバルも釣れ始めるそうだ。

当日、たまたま立ち寄ったスーパースタック100円のカタクチイワシが売っていたの

で、特エサとして購入してから船宿に向かう。

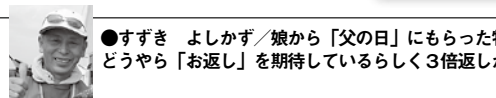
この日は乗船者9名とスタッフ3名で17時15分出船。「近いところからやるので準備しておいてね」と佐藤船長がアナウンス。

**知得! Tips and Tricks**

**夜釣りの心得**

短時間の釣りなので、ハサミやタオルなど必要な物を手元に整理して置き、手前マツリで仕掛けが絡んたら迷わず新しい物と交換してタイムロス軽減しよう。夜釣りはエサを付けたときヘッドライトがあると便利。しかしヘッドライトで海面を照らすと、釣り場が浅いだけに魚を散らすこともあるので注意しよう。

▲夜釣りは出船前の準備が肝心



●すずき よしかず/娘から「父の日」にもらった物は腰痛ベルトでした。どうやら「お返し」を期待しているらしく3倍返しかしらん?

●東京湾奥横浜発! 横浜沖

本誌ABC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki